

# 灯



私が加入している日田ロータリークラブと台湾南部の嘉義市玉山ロータリークラブとは縁あって交流が深まり、友好クラブ締結をすることになり、昨年十月私も参加して無事調印式を済ませた。嘉義市の副市長まで立ち会うかなりのイベントになり、大歓迎の待遇で台湾の日本に対する関心の高さを感じたものであった。

三月は日田市の、特に豆田町では天領日田おひな祭りでは、わが家が一軒だけ最初に公開して二十五年目を迎えるが、まだ幾分かは元気が残っているようだ。

おひな祭り元祖の母は英語の

教師で外国に関心が強く、私の兄が海外出張が多かったのでお土産に各国の人形を買ってきてもらい、「外国からのお客様」と称してひな人形とは別の部屋に飾ってきた。おおむねすべての大陵は網羅しているのだが、

## 台湾からの贈り物



草野 義輔

それでも五十カ国には達していない。

今年二月、いよいよおひな祭り開始というその日、嘉義市玉山ロータリークラブの会員のご子息たちが主要メンバーであるロータリークラブのメンバー

二十人ほどが、日田を訪れて早速わが家の見学にやってきた。昨年大変お世話になった方々の息子や娘なので私が直接案内をした。

「外国からのお客様」の部屋にさしかかった際、実は台湾の人形がまだ無い。私が買い忘れてしまった、と説明するとそれでは台湾に帰ったらすぐに人形を贈りましょう、とリーダー格の二人が応じてくれた。

それから一週間ほどたったころ、出先から学校に戻ると机の上に大きな箱が置いてあった。見れば台湾の人形である。早速飾りつけ、写真を撮ってお礼のメールを送った。

草の根の国際交流に少しはなつたかな、と思う。

(日田市昭和学園高校理事長)